



特定非営利活動法人使い捨て時代を考える会

SDGsを下京区で実現するための実践プログラム

事業目的・概要

「修理＝リペア」を身近にする「リペアカフェ」、不用品を他の方に譲る「くるくる交換会」等を開催し、「SDGsに配慮する」、「使い捨てない」、「環境を壊さない」ことに関心を持ってもらうことで、SDGsの実現を目指す。

事業成果

「リペアカフェ」は衣類の修繕（4回）と包丁研ぎのワークショップの全5回を行い、49名の参加者。「くるくる交換会」は5月に行い、約170名の来場者であった。愛着ある衣類・包丁をもう一度素敵によみがえらせるリペアの技は、楽しみながら「使い捨てをしない」暮らし方の実践そのもの。下京のまちに様々な世代が集って手を動かし、環境との調和を実践形式で語り合える場を作ったのは+GOODな試みだった。

今後の予定・次年度以降の事業展開

下京のまちの中の保健室的な場所を目指している。食や環境への学びを通して、「誰もがいきいきとくらせるまちづくり」・「危機にしなやかに対応し「いのちとくらし」を守るまちづくり」に貢献したい。「リペアカフェ」の継続、防災時に備える食の連続ワークショップを計画している。「リペアカフェ」は京都だけでなく全国、さらには海外にも発信していく予定。「みんなの喫茶」はこれからのSDGsのモデルとなる事業を目指す。

具体的な課題やつながりたい団体イメージ

今年度はSDGsをテーマに環境と調和したくらしが根付く持続可能なまちづくりを考え、事業を実施。暮らしの中でのSDGsを、様々な世代の方々と実践していくことを課題としている。若い方々への発信力が弱いと感じているので、「京都寄り道推進室」さんから「発信×繋がる」についてお話しが聞ければと思う。